

衆議院予算委員会ニュース

平成 26.5.28 第 186 回国会第 16 号

5 月 28 日（水）、第 16 回の委員会が開かれました。

1 予算の実施状況に関する件

- ・ 集団的自衛権等について、安倍内閣総理大臣、谷垣法務大臣、岸田外務大臣、田村厚生労働大臣、太田国土交通大臣、小野寺防衛大臣、菅国務大臣（内閣官房長官）、稲田国務大臣（規制改革担当）、横畠内閣法制局長官及び政府参考人並びに参考人に集中審議を行いました。

（参考人）大阪大学大学院法学研究科教授

坂 元 一 哉君

（質疑者及び主な質疑内容）

中 谷 元君（自民）

- ・ 安倍内閣総理大臣は、集団的自衛権の行使を限定的に容認する方向で検討を進めることを表明したが、総理の安全保障についての基本的考え方を伺いたい。
- ・ 集団的自衛権の行使を限定的に容認することで日本が戦争に巻き込まれることを懸念する声があるが、このような懸念に安倍内閣総理大臣はどう答えるのか。
- ・ 領海警備における海上保安庁と自衛隊との連携強化の必要性について、太田国土交通大臣はどのように考えるか。

遠 山 清 彦君（公明）

- ・ 現行の自衛権発動の 3 要件を今後も維持するかについて、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・ 自衛権の行使を容認するのは「国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底からくつがえされる」場合のみとする昭和 47 年の政府見解と、集団的自衛権の行使要件が「我が国の安全に重大な影響を及ぼす可能性があるとき」とする「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」（安保法制懇）の提言（平成 26 年 5 月 15 日）との関係について、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・ 安保法制懇の集団的自衛権の行使要件が憲法第 9 条の規範性を失わせる可能性について、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。

岡 田 克 也君（民主）

- ・ 紛争地から避難する邦人を輸送する船舶が米国以外の国籍であった場合にも自衛隊が防護できるかについて、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・ 米国以外の国への集団的自衛権の行使を可能とすることで抑止力が高まるとの考え方について、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。

- ・ 集団的自衛権行使の範囲を拡大しないためにも個別的自衛権と同様の規範で考えるべきと考えるが、安倍内閣総理大臣の所見を伺いたい。

大 串 博 志君（民主）

- ・ 日豪 E P A における合意内容や T P P 交渉における日本政府の姿勢は、従来の農林水産委員会の決議内容に反すると思うが、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ 国民生活・経済に重大な影響を及ぼす T P P 交渉に関する積極的な情報開示が必要であると考え、政府の見解を伺いたい。
- ・ 安保法制懇から報告書の提出を受けた安倍内閣総理大臣が記者会見において、集団的自衛権の限定的な行使容認は従来の政府の基本的な立場を踏まえた考え方であると述べたが、その根拠を伺いたい。

長 妻 昭君（民主）

- ・ 今国会において憲法改正国民投票法改正案の成立が確実な中、憲法改正手続を踏まず、集団的自衛権行使に係る憲法解釈の変更を閣議決定で行う理由について、安倍内閣総理大臣に伺いたい。
- ・ 消えた年金問題に関し、紙台帳とコンピュータの年金記録の照合が終了した現在、改めて未解明年金記録のサンプル調査を行う必要があると考えるが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・ 厚生年金及び社会保険に違法未加入である被雇用者の人数調査及び当該違法状態を是正するための国民年金 1 号被保険者のサンプル調査を行う必要があると考えるが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。

小 沢 鋭 仁君 (維新)

- ・集团的自衛権について、国際情勢の変化に即した対応をとるべきではないか。また、憲法裁判所を設置するなど内閣による憲法解釈の変更に対する統制の在り方について安倍内閣総理大臣はどのように考えるか。
- ・限定容認論について、安保法制懇の考え方を伺いたい。また、自由民主党は「限定」の要件を早期に提示すべきではないか。
- ・集団安全保障への参加について、安保法制懇の考え方を伺いたい。また、安倍内閣の方針及び安保法制懇の考え方を採用しない理由についても伺いたい。

中 丸 啓君 (維新)

- ・現場で判断や対応がしやすいよう、PKO活動時の武器使用等について、ネガティブリスト（できないことの列挙）を作成する必要があるのではないか。
- ・集团的自衛権の行使に関し、関連法を整備する前に不測の事態が起きた場合の対応について、太田国土交通大臣及び小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・国連加盟申請書や日米安保条約等の規定に鑑みれば、集团的自衛権の憲法解釈を限定容認に変更すべきと考えるが、岸田外務大臣の所見を伺いたい。

山 田 宏君 (維新)

- ・政府において河野談話の検証作業が現在進められていると承知しているが、安倍内閣総理大臣は河野談話は検証はするが見直さないと発言している。検証結果に基づいて新談話等で新たな考え方を表明すべきと考えるが、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・アジア歴史資料センターについて、世界中に日本の資料を公開し研究者に事実に基づいた研究をしてもらうためにも、この施設の予算を増額すべきと考えるが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・ベトナムへの海上保安庁の巡視船等の供与について、更新時期にあるがまだ運用できる巡視船を早期に供与する等、柔軟な対応をする必要があると考えるが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。

村 岡 敏 英君 (維新)

- ・規制改革会議において決定された農業委員会、農業生産法人及び農業協同組合等の農業改革の3本柱を断行していくことについて、安倍内閣総理大臣と稲田規制改革担当大臣の決意を伺いたい。
- ・農業の発展に向けて農業者が価格決定力を持つ必要性について、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・全国の均衡ある発展に向けた農業政策に対する安倍内閣総理大臣の決意を伺いたい。

浅 尾 慶一郎君 (みんな)

- ・集团的自衛権行使容認の検討によって大量破壊兵器に対する抑止力が向上する見込みについて、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・集团的自衛権行使が容認された場合、アフガニスタンにおけるテロとの闘いのような事例が発生した際の対応方針について、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・集团的自衛権行使容認のために憲法解釈を変更する理由を国民に正面から説明する必要があると考えるが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。

江 田 憲 司君 (結い)

- ・安倍内閣総理大臣は、先人が築き上げてきた憲法の公権解釈について最大限尊重すべきであると考えているのか伺いたい。
- ・安保法制懇の報告書には、個別的自衛権の範囲の拡大が国際法違反の恐れがある旨の記述があるが、この記述が適切と考えているのか伺いたい。
- ・個別具体的な事例について、集团的自衛権の行使ではなく個別的自衛権や警察権の拡大によって対処することも可能であるとするが、安倍内閣総理大臣の所見を伺いたい。

志 位 和 夫君 (共産)

- ・集团的自衛権の定義について、横畠内閣法制局長官に伺いたい。
- ・集团的自衛権の行使容認が、「武力行使をしない」「戦闘地域で活動しない」という2つの歯止めを失わせることになるのではないかと考えるが、安倍内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・集团的自衛権の行使容認によって、米国のために日本の若者の命を犠牲にすることになるのではないかと考えるが、安倍内閣総理大臣の所見を伺いたい。

鈴木克昌君（生活）

- ・集団的自衛権行使容認等の政治姿勢の下での近隣諸国との関係改善の可能性について安倍内閣総理大臣に伺いたい。また、第二次世界大戦や戦後の世界秩序についてどのように認識しているか。
- ・厚生労働省による国会提出法案等におけるミスはなぜ発生したのか。
- ・政権による集団的自衛権に係る憲法解釈変更の是非について内閣法制局の見解を伺いたい。